

プロデューサーズ (1968)

THE PRODUCERS

メディア 映画
ジャンル コメディ
製作国 アメリカ
色彩 Color
時間 88分
初公開日 2001/01/01
公開情報 ザジフィルムズ

【解説】

有閑老婦人の御機嫌をとっては日銭を稼いでるブロードウェイの演劇プロデューサー、マックス・ピアリストック（モステル）の事務所に会計士レオ・ブルーム（ワイルダー）がやって来た。レオのこぼした“どんなに高額な製作費でも赤字なら帳消しにできる”という言葉にひらめいたマックスは、できる限りスポンサーを募って金を集めた上で、史上最低の脚本・演出・役者を揃えてわざと芝居を打ち切らせれば、実製作費以外は全部フトコロに入れられると考えた。早速、いやがるレオをパートナーに脚本探しを始めるマックス。そして遂に『ヒトラーの春』と題されたナチ礼賛のとんでもないシナリオが見つかった！

TV界の才人M・ブルックスの本格的映画進出第一作で、いきなりアカデミー脚本賞を受賞しているが、それも納得の面白さ。大方の察し通り（マックスとレオ以外か）、芝居は不評どころか爆笑に次ぐ爆笑で大ウケしてしまうのだが、そんな事は百も承知の脚本は最後の最後まで実に良く出来ている。愛すべき巨漢のマックス、過度の神経質で興奮すると手がつけられないレオをはじめ、大真面目に書いたシナリオを笑い者にされ激怒する脚本家、オカマの演出家、英語もろくにしゃべれない美人秘書（“仕事をしろ”と言われると服を脱いで踊り出す）など奇妙なキャラクターのオンパレード。特に芝居の主演に抜擢されたLSD（D・ショーン）のスティーブ・マーティンのキレ具合はたまらない。主題歌“Springtime for Hitler”（作詞・作曲ブルックス）からスタートするミュージカル『ヒトラーの春』も最高だ。ブロードウェイの裏側を皮肉と愛情をこめて描き出した傑作コメディ。この90分弱は、大いに楽しめる。以前にビデオがリリースされただけの陽のあたらぬ傑作だったが、2000年の暮れになってようやく劇場公開された。

【クレジット】

| | | |
|----|-----------------|-----------------|
| 監督 | メル・ブルックス | Mel Brooks |
| 製作 | シドニー・グレイジャー | Sidney Glazier |
| 脚本 | メル・ブルックス | Mel Brooks |
| 撮影 | ジョセフ・コフィ | Joseph Coffey |
| 音楽 | ジョン・モリス | John Morris |
| 出演 | ゼロ・モステル | Zero Mostel |
| | ジーン・ワイルダー | Gene Wilder |
| | ケネス・マース | Kenneth Mars |
| | ディック・ショーン | Dick Shawn |
| | リー・メレディス | Lee Meredith |
| | クリストファー・ヒュウェット | |
| | アンドレアス・ヴォウスティナス | |
| | エステル・ウィンウッド | Estelle Winwood |
| | レニー・テイラー | Renee Taylor |

allcinema

ビル・ヒッキー
バーニー・マーティン

Bill Hickey
Barney Martin